

## 啓発部会 報告書

啓発部会長 田邊

### 1 経過

①令和8年1月8日（木）15時から16時35分まで

②出席者：田邊部会長、横田副部会長、森田委員、富田委員

オブザーバー：荻野副会長 欠席者：なし

### ③内 容

1) 新委員の紹介、委員自己紹介

2) 検討課題（施策）について現状の意見交換及び情報共有

施策 9 障がい者福祉について関心や理解を深めるために

施策 10 福祉ボランティア活動を支援する

施策 11 障がい者スポーツ・文化活動を支援する

施策 12 だれもが安心して使いやすい施設とするために

施策 13 成年後見制度の周知と成年後見制度利用支援事業の推進

施策 14 障がい者の権利をまもる

#### ◆自己紹介をしながら施策を音読。意見交換

- ・障がい者自身が意識してコミュニケーションをとることで関係は改善する。

- ・「誰でも参加可能」なイベントでも、ろうあ者が参加する場合、主催者側が手話通訳者等配置しているか確認しなければならない。配置なしの場合は意志疎通支援事務所に予約する。当日自分が体調不良となっても通訳者の予約があるので無理していかなければならないと負担がかかる。

→個人差もあるが、そういったことは気にせずに。

イベントへ参加、不参加を気軽に本人が決める、それが当たり前になる社会にしなければならない。

→イベント等の告知ポスターに「誰でも」標記ある場合、手話通訳等人員配置が当たり前でなくてはいけない。

- ・ボランティア送迎者が（寝坊や予約を忘れる等で）来ない事があった。ろうあ者は連絡も確認もとりようがない。待っているしかないのが現状。

- ・手話通訳者数はニーズに対応できる数いらっしゃるのか。

→県の試験が厳しいと意見もあるようだが、手話通訳者はろう者の命を預かる仕事なので、今後も養成講座等頑張ってもらいたい。

2 今後の検討内容について協議

本日の意見や現状を基に次回の部会で検討をする

3 次回開催 3月中に部会を開催する。

以上。